

群馬県立西邑楽高等学校 学校評価一覧表② (平成28年度版)

(様式2)

羅 針 盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校を好きだと感じている生徒の割合が、80%以上である。	A	A	A	生徒が充実した学校生活を送ることができるよう面接や授業・特別活動に力を入れ、支援をした。	・授業観察や生徒会本部役員との懇談等からも、生徒が充実した学校生活を送っていることがよくわかる。 ・現状に満足することなく、アクティブラーニング等に取り組み改善に努めてほしい。 ・スポーツ科が取り組んでいる地域の小学校との連携授業などの専門学科の授業は大きな成果を上げており、今後も継続してほしい。	面談等の充実により、生徒が学校生活の様々な場面で自己肯定感を感じられるよう支援していく。 学校目標の実現に向けて、職員個々がすべきことをよく考え、自己目標を設定する。 数学・英語の習熟度別授業の在り方について、各教科で検討していく。また、専門教科の授業についても、さらに工夫していく。
		②各職員が「本年度の重点目標」、「羅針盤」を指針として自己目標を設定し、教育活動の改善に努めている。	B	B	B	年度当初に設定した自己目標の実現に向けて各職員が努力し、その成果を適切に評価できた。今後さらに組織的な改善に努めたい。		
		③習熟度別授業(数学・英語)に満足している生徒が85%以上である。	A	A	A	数学・英語の習熟度別授業の満足度は高いが、さらに工夫をしていく必要がある。		
		④専門教科の授業に満足している生徒が85%以上である。	A	A	A	専門教科の授業に満足している生徒が90%以上である。		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤双方向の授業への取組を進め、学習に対する達成感・満足感を持っている生徒が80%以上である。	B	B	B	公開授業や授業研究、授業アンケート等を活用し、今後も生徒の満足度をあげるために、工夫をしていく。	・授業においてきめ細やかな対応を行っていることは評価できる。今後も思考力や表現力の向上に向けて、アクティブラーニング等に積極的に取り組んでほしい。	ステップアップサポート事業により、さらに授業改善の研修を充実させ、全職員の意識と教科指導力の向上を図る。授業アンケートの結果を効果的に活用し、生徒が生き生きと参加できる授業を目指す。多読者の表彰を行うなど、読書の大切さを生徒に意識させるような指導の工夫をする。
		⑥「朝の読書」を含め、生徒が1年間に12冊以上の本を読んでいる。	A	A	A	図書館オリエンテーション・オリジナルPOPコンクール・図書講演会・LHR読書会などの行事を通じて読書推進の広報活動を工夫して実施できた。		
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦生徒の家庭での1日の平均学習時間は、1、2年生で80分以上である。	B	B	B	家庭学習時間の増加に取り組んでいるが、さらなる増加のためには工夫が必要である。	・形式的ではなく、自主的に学習に取り組む生徒の育成に向けた工夫を重ねてほしい ・英検の資格は今後進路決定時に重要になってくることをしっかりと理解させていくことが大切である。	学習意欲を高めるため、教務部と進路指導部が連携し進路や科目選択のためのガイダンスを充実させる。教科においても授業内容や課題の出し方を工夫していく。 資格の重要性や学習活動への取り組む姿勢を教科指導の中でさらに徹底していく。
		⑧実用英語技能検定の合格者が、2級5名、準2級30名以上である。	C	C	C	授業を通じて、生徒のモチベーションをあげ、資格試験に挑戦する姿勢を醸成できてきた。		
		⑨学年会議等において、生徒に関する情報交換を月に2回以上実施している。	A	A	A	学年との連携・情報交換もうまくいっており、今後も継続していく。		
		⑩登校時指導等を通じて、あいさつ・服装・遅刻防止に関する指導を進め、生徒のあいさつができてきているという評価が70%以上(教職員アンケートによる)である。	A	A	A	高校生としての目標数値はすべてクリアできた。服装・遅刻指導に関して意識を高める工夫が必要であると思われる。		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑪服装頭髪指導の係指導の対象となる生徒が10名以下、遅刻指導該当者が年間15名以下である。	B	B	B	女子のスカートに関する指導の強化に力を入れていく必要がある。	・基本的な生活習慣や身だしなみの重要性について、式典などの機会をうまく活用して生徒の理解を深めたい。身に付けさせる指導も有効なものではないか。 ・職員間での情報交換はしっかりとできていることが生徒との交流からよくわかった。 ・自転車も車両であることをしっかりと理解させていく指導の工夫をしてほしい。	学習意欲を高めるため、教務部と進路指導部が連携し進路や科目選択のためのガイダンスを充実させる。教科においても授業内容や課題の出し方を工夫していく。 資格の重要性や学習活動への取り組む姿勢を教科指導の中でさらに徹底していく。 今後も継続して学年会議を定期的に開催することにより、生徒の情報共有に努める。社会性についての教育を日常の指導の中に取り入れることにより、社会に出てからのマナー等の指導をさらに推進する。
		⑫自転車点検や事故防止啓発活動を通じて、過失事故や重大事故を0にする。	B	B	B	過失事故や重大事故に関しては「0」であった。結果だけではなく、意識を高めることが重要と思われる。		
		⑬生徒の健康診断に基づく受診率が50%以上である。	B	B	B	月に1回の保健日より健康管理に関する情報を発信し、家庭と協力して取り組む。		
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑭不登校の生徒0を目指す。	B	B	B	職員間の情報提供や専門家によるカウンセリングを通じて、組織的な相談体制を強化する。	生徒及び保護者へ健康管理を働きかけ受診勧告についての意義を理解してもらおう。 不登校0を目指し生徒及び保護者と信頼関係、相談体制を築いていく。 引き続きアンケートを実施し、組織として情報を共有し問題の早期発見と解消に取り組む。 充実した活動ができるための環境整備と共にボランティア的行動ができる生徒の育成に努める。	
		⑮いじめの未然防止に努め、いじめ問題解決率100%を目指す。	B	B	B	アンケートを年2回実施し、組織として情報を共有することにより問題の早期発見と解消に取り組む。		
		⑯部活動に加入している生徒が、70%以上であり、充実していると感じている生徒が70%以上である。	B	B	B	一生懸命に取り組んでいる生徒が多数いる。充実感を持たせるためにより効果的な指導をすることと環境を整えることが必要である。		
6 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	⑰LHRでのいじめ防止活動に主体的に取り組んでいる生徒が70%以上である。	B	B	B	いじめ防止活動が身近な問題であるという認識をもたせるように注意を払いながら指導していく。	・いじめについては、日頃からの教員との会話を通して差別意識についての理解と、しっかりと時間をとって生徒同士が考えていくことが必要であり、生徒会を中心として生徒への働きかけが有効ではないか。 ・生徒が生徒会行事に積極的に取り組んでいることが理解できた。今後も活性化に取り組んでほしい。 ・専門学科における進路指導について早い段階からの指導が必要ではないか。	生徒の心の問題に目を向けいじめの早期発見、早期解決に努める。 生徒会活動の充実とリーダーシップを身に付けた生徒の育成に努める。	
	⑱生徒会行事を作り上げる過程で、仲間意識をもつことや他を認めることの大切さを認識している生徒が70%以上である。	B	A	A	校内文化祭の成功を通して、生徒が協力・団結する大切さを認識できた。			
	⑲進路関係の行事や学習が役立っていると思う生徒が80%以上である。	B	A	A	今年度の進路計画が、進路意識の向上につながったものと評価できる。今後、将来の目標が自発的学習に結びつくような指導を工夫する。			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑳文化祭や送別会等の生徒会行事に満足している生徒が85%以上である。	A	A	A	生徒会の大規模な行事として校内文化祭を行った。生徒は主体性をもって活動していた。また達成感をもった生徒が多かった。	送別会や体育祭などの内容の検討を通して生徒の主体的な関わりを増やしていく。	
		㉑将来の職業や卒業後の進路について考え、進路実現のための課題を意識できた生徒が80%以上である。	B	A	B	多くの生徒が進路を考える際に二者、三者面談や進路学習、進路行事が役に立っていると答えている。		
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	㉒進路別講演会・大学見学・大学模擬授業などの進路行事に積極的に取り組んだ生徒が70%以上である。	B	A	A	生徒の評価は目標を上回ったが、保護者の評価がやや低かった。今後保護者への情報提供に工夫をしていきたい。	進路実現のための進路指導・進路行事のさらなる充実を図るとともに課外授業の充実と参加率のアップを目指す。 生徒が自分自身の進路について主体的に考える行事内容を検討していく。	
		㉓PTA総会に参加している保護者が50%以上、専門学科ガイダンスに参加している保護者が80%以上である。	B	B	B	PTA行事への参加率を高めるために、係職員や本部役員による広報、PTAだよりの紙面の充実等の工夫をさらに行う。		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	㉔オープンスクールで「学校の様子がわかった」と答えた参加者が80%以上である。	A	A	A	今後も継続してさまざまな場面で、学校の様子を発信していく。	保護者や地域から信頼される学校となるために、家庭や地域と連携した活動の工夫に取り組む。 学校からの配付資料の充実度とわかりやすさについて検討していく。 Webページの充実にも努め、迅速かつ確かな情報発信に努める。	
		㉕学校のwebページを月2回以上更新している。	A	A	A	webページの更新は、しっかりとできた。今後は教員間で情報公開の意義をしっかりと理解してもらうように努める。		
		㉖PTA総会に参加している保護者が50%以上、専門学科ガイダンスに参加している保護者が80%以上である。	B	B	B	PTA行事への参加率を高めるために、係職員や本部役員による広報、PTAだよりの紙面の充実等の工夫をさらに行う。		

